

令和2年1月16日

Jan. 16, 2020

大学院学生各位

To All Graduate Students

2019年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2019.4-2020.3

題目：アミロイドβ蓄積に呼応したミクログリア応答の分子機構解明と治療法開発

Title： Molecular mechanism of microglial response to amyloid β deposition

講師：富田 泰輔 東京大学大学院薬学系研究科 機能病態学教室 教授

Teaching Staff：Taisuke Tomita, Ph.D, Professor, Laboratory of Neuropathology and Neuroscience, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo

日時：令和2年3月5日（木）17時00分より（90分）

Time and Date: from 17:00, Thursday, Mar. 5, 2020

場所：環境医学研究所 北館 2F 201 セミナー室

Room: The Research Institute of Environmental Medicine, North Building, Seminar room 201

使用言語：日本語

Language: Japanese

アルツハイマー病患者脳においては、凝集したアミロイドβを主な成分とする老人斑が蓄積し、更にその周囲に活性化ミクログリアの集簇が認められます。近年のゲノムワイド関連解析において多数のアルツハイマー病遺伝学的リスク因子が同定され、その遺伝子の多くがミクログリアに特異的、選択的に発現していることから、ミクログリアの病的意義や、ミクログリアを標的細胞とした治療法開発が注目されています。そこで我々が最近進めている、アルツハイマー病リスク因子INPP5Dの研究や、抗体に変わる新しいアミロイドクリアランス促進法である光酸素化技術について紹介したいと思います。

* 関係講座・部門等の連絡担当者: 環境医学研究所 病態神経科学分野 山中宏二(3867)

Contact: Neuroscience and Pathobiology, Research institute of Environmental Medicine.(Phone; Ext,3867)

[注意] Notice 事前の申込みは不要です。No registration required.

医学部学務課大学院係
Student Affairs Division, School of Medicine